

三小日記の活用について

ねらい

- ・日常生活の中で体験したことや感じたこと、考えたことを文字で表現でき子を育てる。
- ・書いたものを読み合う活動を通して、互いの理解を深め、より良い人間関係を構築していく一助とする。また、互いの表現の良い部分について学び、自己の表現に生かしていく。



- 活用方法
- ・週に一回、三小日記タイムを設定し、書く時間を保証する。その時間に行えない場合は、他の時間に設けたり、宿題にしたりする。そのほか、学年や学級で工夫して行う。
 - ・学期ごとに目標や方法、反省を書き、次の学期、学年に生かしていく。

在庫	①製本所作製のもの・・・マス目	低学年用	375冊
		中学年用	120冊
		高学年用	30冊
		すずかけ用	400冊
	②罫線（横長のもの・・・10枚つづり）	オレンジ	37冊
		黄緑	33冊
		ふじ	32冊
	③罫線（縦長のもの・・・10枚つづり）	オレンジ	47冊
		黄緑	
		ふじ	29冊

②、③は学校作製なので、まだまだ増やせます。マス目に文字をきちんと入れることがなかなか難しい児童には、罫線の方がおすすめです。また、自分の思いを自由に表現するには、罫線の方が児童にとって書きやすいようです。きちんとした文章を書かせたい場面ではマス目を使うなど、目的によって使い分けるのもいいかもしれません。いずれにしろ、日記は児童が常に持っていて、書きたいときに書ける状況にしておくことが大切です。表現力向上だけでなく、児童の生活や思いを教師や子供同士が受け取り、さらにつなげる、広げる手段として活用してください。休校中の子供たちの様子を知ることにも有効です！1枚ずつ配って後でとじたり、2冊使って順番に使用したりすれば、教師側で預かって返事を書き、翌週に子ども達に返せます。工夫してみてください。